

令和4年度 第2回剣道段位（初段～三段）学科審査要項

一般財団法人 長野県剣道連盟

1 受審対象者

- (1) 長野県剣道連盟主催「令和4年度第2回剣道段位（初段～三段）審査会」を受審する者
- (2) 受審資格は「令和4年度第2回剣道段位（初段～三段）審査会実施要領」に定める。

2 審査方法

(1) 学科（作文）の審査

- ・課題に対して、自分自身のこれまでの修行実践を通じた考えを、具体的に述べられているか等について審査を行う。作文は受審者本人が書いたものとする。
- ・以下の事例に当てはまるものの引用・転記について、著作権の侵害に相当する場合は審査の対象としない。（著作権に関する不明な点は文化庁 HP の「著作権なるほど質問箱」のページ等を参照のこと）

- ① 全剣連制定文書「剣道の理念」「剣道指導の心得」等の文書
- ② 過去の審査会に提出された小論文
- ③ 他者が作成した小論文
- ④ 書籍やインターネット上で模範解答として示された小論文

(2) 審査会による審査

提出された作文を採点の上、実技審査に付議して可否を決定する。

(3) 審査期日

「令和4年度第2回剣道段位（初段～三段）審査会実施要領」に定める。

(4) 合格発表

実技審査日に、日本剣道形の結果とともに発表する。

(5) 学科審査の再受審

実技及び日本剣道形が合格している者に限り、再受審を認める。

3 提出方法

- (1) 課題
(表題) 初段：あなたにとって「剣道を行う目的」を書きなさい。
二段：「基本打突の練習」で大切にしていることを書きなさい。
三段：あなたが日頃大切にしている「稽古の心構え」について書きなさい。
- (2) 字数 200字程度
- (3) 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）、用紙1行目から4行目に表題、所属支部または学校名と氏名、受審段位を記入し、その次の行の行頭より1マスあけて書き始めること。黒ペンで記入し、鉛筆またはシャープペンシル書きは不可とする。（HP掲載の凡例参照）
- (4) 提出 実技審査受審者は審査会当日持参し、受付に提出する。その際、封筒などには入れずに提出すること。
学科再受審者は、封筒長3（長さ23.5cm・幅12cm）の表に「剣道〇段受審」、裏に所属支部または学校名と氏名を表記し、封印したものを受審申請書とともに支部または加盟団体審査受付窓口に提出すること。

5 個人情報保護法への対応

申請書及び作文に記載される個人情報（支部・加盟団体名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、段位、職業、学校名等）は、長野県剣道連盟が主催する本審査会運営のために利用する。なお、支部・加盟団体名、氏名、生年月日等の最小限の個人情報は、掲示用紙等に記載することがある。